

インターバンクの声（2016年11月25日）

昨日の東京市場の円相場は、112円台中盤から後半の値動きが夕方まで続き、ニューヨーク市場がサンクスギビングデーのため休場となることから、ロンドン市場もこのままの水準での取引が続くものと思われた。

ところが、突然夕方4時半あたりからドルが急上昇、ドル売りポジションを抱えていた人たちのほとんどは買う余裕もないまま113円台中盤まで買い上げられてしまった。投機筋による仕掛け的なドル買いとの見方や、ドル売りポジションを大きく持っていた一部がなかなかドルの反落がなく我慢できずに買戻したなどの見方もあったが、実際にドル買いが持ち込まれた銀行くらいしか真相は分からない。

しかし、113円中盤前後はドルを持っている人たちにとっては絶好の利益確定を狙う水準だったようで、次第に上昇前の水準まで反落していった。その後は欧州勢もさすがに積極的に仕掛けるようなことはなかったが、トランプ次期大統領の経済政策に期待感が強く、12月の米利上げだけでなく、2017年入りしてからも利上げが加速されるとの見方もあって、結局113円台に戻している。115円が次の目標との声も大きくなっているが、正直この水準でのドル買いは怖い。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。